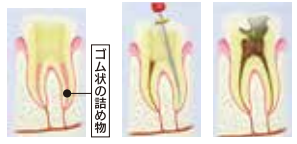


「歯の根っこ(歯根)の治療」で歯の寿命を延ばしましょう

歯が「何となくウズウズする」「噛むと痛い」「歯茎が腫れる」等々を経験されている方はおられませんか？もしかしたら、歯の根っこ(歯根)の炎症が原因かもしれません。そのままにしていると、歯を失うことになりかねません。

図1 ▼ 歯根の治療の流れ (図出典:nicoクインテッセンス出版)。



大きな虫歯や歯根の先の炎症で歯根の治療が必要になることがあります(図1)。歯根の中の神経・血管・バイ菌をきれいに掃除し、バイ菌を退治し、バイ菌が入らないように密閉します。すると、炎症は収まり、健康な歯と同じように快適に噛めるようになります。正しい歯根の治療では90%以上が成功します。ただ残念ながら、日本では前述したようなバイ菌が入って、炎症が起きていて報告されている例が多いと報告されています。

歯根の数や形は、様々で複雑です。直径が50μm程度の細い歯根や目詰まりした歯根が多くあります。そのため、時間をかけ歯根を完全に見つけ出します。5〜6時間かかるようなケースもあります。最近では、歯科用顕微鏡や歯科用CTを使った高度先進医療も可能になりました(写真1)。口の中にはバイ菌がたくさんいるので、歯にゴムシート(ラバーダム)をかけ、滅菌した清潔な器具を使って、バイ菌が入らないように治療を進めます。掃除を終わらせ、ゴム状の薬とセメントで密閉します(写真2)。



写真2 ▲ 歯科用CTや顕微鏡を使った高度先進医療による歯根の治療。通常では見つけが難しい合計7本の歯根が全て見つけられ、根の先まで緊密に薬が詰まることが分かります。



写真1 ▲ 顕微鏡を使った治療。顕微鏡を使うことで、通常は見えない歯根を探し出すことができます。

しっかりとした歯根の治療で歯の寿命がグーンとアップします。それでも、神経がある健康な歯に比べると寿命は短くなってしまいます。虫歯にならない予防を行い、できるだけ神経を抜かない治療を選択することも大切です。

ぜひ、表1のようなプログラムで歯根の治療を受けていただき、歯の寿命を延ばしてほしいものです。専門家にご相談ください。

表1 正しい歯根の治療のチェック項目

- バイ菌が入らないように、ゴムシート(ラバーダム)をかける。
- 滅菌した清潔な道具や器材を使用する。
- 時間をかけて歯根のすべてを探し出す。
- 歯科用顕微鏡を使用する。
- 必要に応じて、歯科用CTで診断する。
- 治療の前後のエックス線写真を、丁寧に説明する。
- フッ化物や再石灰化を誘導する薬剤を使い、できるだけ神経を取らない治療を勧める。

※高度先進医療は、保険外診療になることがあります。



医療法人 くらのおえ市丸歯科
院長 市丸英二先生
長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。歯周病に関する国際的な論文発表などを重ね、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410 住/鳥栖市蔵上2丁目187番地
URL www.10shika.jp

医療法人 くらのおえ市丸歯科

院長 市丸英二 (歯学博士)

- ・日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医
- ・長崎大学大学院(歯周病学)卒

副院長 山口竜亮 (歯学博士)

- ・長崎大学大学院(歯周病学)卒

お問い合わせ・ご予約
☎0942-81-5410
鳥栖市蔵上2丁目187番地

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	◎	祝日のある週のみ診療	◎	10:00~14:00	◎	9:00~13:00	休
15:00~19:00	◎	◎	◎	休	◎	休	休

検索 <http://www.10shika.jp>